



酒井 郁郎 議員

医療政策

Q ワクチンや検診を見直して、市民の命を守れ

A 国の動向を見守る

議員 ワクチンや検診を見直して、市民の健康と命を守らなくてはならない。①若年者の乳がんは悲劇。検診対象を30歳代に拡大、超音波検査の導入を②胃がんのピロリ菌検査は、コスト、侵襲性、がん発見率、受診率アップに有効③がん検診を市外でも受けられるように

の見直しや、市民に対する医療知識の提供を。
福祉部長 ①②国の動向を見守る③研究する④慎重に判断⑤困難。

保育所の申請書類が多過ぎる

議員 保育所に毎年同じ内容の書類を手書きで提出が必要。兄弟ごとに同じ書類が必要で、多子世帯には特に負担が重い。勤務証明書は、時短勤務など、ただでさえ肩身が狭い思いをしている上に会社に手書きでの作成を求めることに毎年気が重くなる方も多い。①フードやエクセルの記入フォーム提供を②マイナポータルによる記入、申請の周知を。
こども青少年部長 ①次年度よりフォームを提供する②検討する。



◀マンモグラフィでは見つけられない乳がんもある(写真中央) 画像提供: 品川プレストクリニック

超音波 見えやすい
マンモグラフィ 例) 20~40代に多いデンスプレスト 例) デンスプレストではない方

安心安全

Q 大津市の交通事故を受け、その後の対策は

A 点検し128カ所の対策が必要



矢澤 青河 議員

議員 滋賀県大津市の交通事故を受け、その後の戸田市の対策は。

都市整備部長 通学路の交差点や園児の散歩コースなど256カ所を点検し、128カ所で対策が必要。車止めや歩車道境界ブロック、路面標示などの対策を進める。

市民生活部長 交通事故発生マップを活用した研修会や、警察、園、市が現地で立ち合い31カ所の安全点検を実施した。

議員 大宮バイパスの美女木交差点は渋滞や事故が多く、市政座談会などで要望が多い。改善を。



市民生活部長 ①現在、町会にシールを配布し、街路灯等への貼付をお願いしている。それ以外にも効果的な表示場所を検討する②さまざまな活用が見込まれる技術。他県の事例を参考にしながら効果的な活用を検討する。

一般質問

災害対策

Q 地域で避難所運営の事前準備を

A 運営のルールや役割分担は必要

議員 台風19号により、避難所が開設された。①地域で避難所運営の事前準備としては②床下浸水被害にも消毒薬の配布を。消毒薬の選定は③水害対応の資機材の配備は十分に。消防団へも胸付長靴を④水害時に市民が避難所へ避難することにに対し、市の見解は。

搜索活動を行う機動力も、可搬ポンプなど冠水対応力も備えている。消防団への胸付長靴も計画的に配備する。

給食費徴収業務の一括管理は

議員 給食費滞納額が増加傾向である。大阪府箕面市は、学校事務センターを設立し、徴収業務を一括管理し始めた。本市の見解は。
教育部長 滞納額は、昨年度約272万円である。徴収の効率化に努める。来年度には全学校で口座引き落としとなる見込み。

環境経済部長 ②自分で床下消毒をする方への消毒薬配布を検討していく。クレゾールは臭いが残るため、効果を検証し、選定を行う。
消防長 ③水上バイクなど救助。

浅生 和英 議員

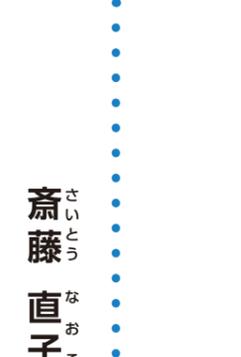


▲台風19号により開設された避難所の様子

風水害対策

Q 町会緊急避難場所マップを見直すべきでは

A 各自主防災会へ支援を行う



齋藤 直子 議員

議員 町会・自治会緊急避難場所マップを再確認し、ゲリラ豪雨なども考慮して、場所によっては見直すべきではないか。

危機管理監 緊急一時避難場所については、台風19号での利用状況や設定箇所などを踏まえ、各自主防災会へ見直しの支援を行う。

議員 保育園などは、自然災害発生時や感染症流行時の臨時休園に関する法律がなく、原則開園だが、非常時は、こどもの国などを指定し、各園から保育士を集結させる体制を整えてはどうか。



Q インフルエンザ流行防止策として、リアルタイムで感染経路や年齢層などの情報発信を。
A 県内の定点調査医療機関情報を基に保健所別に公表。市単位の詳細情報は提供されない。

その他の質問

Q インフルエンザ流行防止策として、リアルタイムで感染経路や年齢層などの情報発信を。
A 県内の定点調査医療機関情報を基に保健所別に公表。市単位の詳細情報は提供されない。